

ありがとう二代目校舎・よろしく新校舎



1973年(昭和48年)に完成した二代目校舎も(写真上)ついに今年から建て替えが始まります。新校舎は2022年に完成予定です。
※右は完成予想図



Contents

- 校長・会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 前校長挨拶・ありがとう二代目校舎・よろしく新校舎・・・・・・・・・・ 3
- 久世良三さん(高校20回昭和43年卒)サンクゼール社長・香川京子さん映画祭・・・・・・・・ 4～5
- 「東日本大震災」小日向恵美子さん(高校19回昭和42年卒)
- 榎本哲さん(高49回平成9卒)神楽坂パン屋「パン・デ・フィロゾフ」・・・・・・・・ 6～7
- 同期会だより・OB/OG会だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～9
- 柏豊会からのお知らせ・教職員移動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 会計・総会報告公示及び役員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 部活動・現役生の話題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

同窓会 年に一度

6月3日(日) 総会・親睦会

第3回総会を豊島高校にて開催します(詳しくは11ページ)

- ☆2018年(平成30年)6月3日(日)
- 総会11時30分・親睦会13時より
- ☆同封のハガキにて出欠をお知らせ下さい(親睦会は当日受付可)
- ☆親睦会はおいしい料理と豪華景品が当たる抽選会有!
- ☆親睦会参加費2,000円
- 但し卒業4年以内(2015年3月卒業以降)の会員は無料!

ホームページもご覧ください

柏豊会の最新情報を発信しております。
ぜひアクセスを!

下記アドレスを入力ください

<http://www.hakuhou.biz>

お問い合わせはmember@hakuhou.biz

自分らしく

柏豊会会長
鈴木(豊田)優子
(高校14回)



会員の皆様には益々お元気で活躍の事とお慶び申し上げます。今年はお東日本大震災から早7年、月日の経つのは本当に早いものです。亡くなられた方、行方不明の方1万8千人、又未だ7万3千人の方々が避難生活を余儀なくされ、「千年に一度」の大地震で厳しい現実と向き合い続けていらつしやる被災地の皆様に心よりお見舞いを申し上げますと共に少しでも支援を続けさせて頂きたいと思ひます。

今年も3月10日めでたく70回生275名が晴々と卒業されました。卒業式は厳粛又和やかに行われ、ある先生が生徒の名前を一人一人読みあげる中、感極まり声を詰まらせられる姿に目頭があつくなりました。卒業生の皆さんの提案で今年には保護者席を各クラス毎に設定、最後に1組ずつ退場し保護者席をぐるっと取り囲み「3年間お世話になりました」とクラス全員大声での感謝の言葉に拍手はなりやみませんでした。本当に先生方の3年間一貫した生徒への

情熱と真剣なご指導で今年も国公立有名校への高い合格率の実績を得、又今年には母校の改築という条件にも関わらず多くの入学希望もありました。

2月の冷たい雨も立春を過ぎ「春の雨」と呼ばれ万物が生き生きと躍動する季節に向け大地を潤すと思えば不思議と気持ちも軽くなる。草木の上に雨は一切の差別なく遍く大地に降り注ぎ恵みをもたらす。ただ草木の個性によって異なる花が開き異なる実がなる。人間も一人一人が他人にない「自分らしさ」を発揮する事が出来ると言われます。人生において、いつ花が開きどんな実を結ぶかは一人一人違うもの、他と比べず諦めない限り必ず悔いがない実をつけ輝く時が来ます。豊島生として生涯自分らしい実を、又母校の伝統至誠の心を忘れずに共に素晴らしい実を結んで行きたいと思ひます。

昨年は天皇退位特例法が6月成立2019年5月改元の予定と、又最年少の棋士藤井聡太四段の29連勝の快挙、パンダの赤ちゃん誕生と嬉しい事、又9人の殺人と痛ましい事件もありました。更に11月に都心で54年ぶりの初雪も。

今年も同窓会として母校への様々な援助や文化財保護への支援を致します。文化祭では同窓会サロンを設け展示等を行います。母校の伝統である至誠、文武両道の精神を大切に、皆様のご健康とご活躍をお祈り致しますと共に益々のご協力を心よりお願い申し上げます。

学校の近況から

豊島高校新校長 大山敏
(さとし)



柏豊会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に種々ご高配を賜り、誠にありがとうございます。

4月1日に林眞司校長の後を受けて着任いたしました大山 敏(さとし)と申します。私の前任校は貴会と同じ柏の名がついた台東区立「柏葉」中学校であり、また私の老母が学童疎開先で、東の間親友となった女性が戦後池袋に戻って豊島高等学校を卒業したことを聞かされ、ますます本校への赴任に数奇なものを感じている次第です。

さて、本校についていろいろと調べてみますと、生徒が落ち着いていて、学校行事や部活動が盛んないい学校、しかし、かなり校舎が老朽化(ポロ校舎!)している学校との評判記が、ネット上に数多く見受けられました。向こう5年間の大規模改修工事は、やっとのことで、この長年にわたる本校の学校課題の一つを解決し、開校90周年の節目へと、大きく道を開くものです。しかし、校舎やグラウ

ンドが使えなくなることで生徒に不便をかけるのは否めません。私のミッションの一つは、この大規模改修工事のさなかでも、生徒が安心して授業や特別活動、部活動を通じた学びに勤しめるようにすることです。

そして、もう一つのミッションは学力向上です。同じく評判記の数々には、勉強をやる人とやらない人の差が大きい、そこそこの大学進学で満足、などありました。高等学校学習指導要領改訂は目眩(もくしよう)の間に迫っており、自己指導力をより一層培う必要がある生徒の現状を直視することが肝要です。林前校長からも、勉強と部活動の両立が最大の課題だとのお話をいただきました。豊島生は、磨けば磨くほどその光を増す珠玉の存在と捉え、生徒の進路希望をよりよく実現する教育課程の編成に意を用いながら、育てたい生徒像を明確にした学校経営に臨んでまいります。

以上のように、至誠を旨とする本校の教育活動を損なうことなく、林前校長の学校経営方針を継承しつつ、新生豊島への飛躍をホップからジャンプまでスムーズに推し進めることが、私のミッションだと心得ます。倍旧のご支援を願ってやみません。



感謝を込めて



第21代校長
林 眞司

この4月から都立六本木高校(前城南高校)への転任が決まりました。豊島高校へ赴任してから3年間という短い期間ではありましたが、柏豊会の皆様には様々な面でご協力をいただき、感謝申し上げます。この3年間には80周年記念式典や新校舎設計などがあり、豊島高校での3年間はひな人形を校長室に毎年飾るとともに、80周年記念式典会場にも飾りました。今年度は生徒会の生徒に手伝ってもらいました。また、今年度は学校行事のたびにこの校舎、このグラウンドでおこなう行事が最後になるという話をしてきました。現在、仮校舎に持つて行けるものを選別していますが、ひな人形は仮校舎でも是非、生徒に飾ってほしいと思います。

引越に向けて、校長室を整理しているときさまざまな古い写真が出てきます。戦争中のアルバムや歩こう会を始めたときに生徒による実地踏査の資料なども見つかっています。こうした古いものを残しながら、新しい校舎へと変わっていきます。よく不易流行と言われますが、まさに豊島高校がこれまで築いてきた不易の部分、それは二単や豊島文庫といった物質的なものだけでなく、これまで多くの豊島生が培ってきた学校の雰囲気や綿々とながら続いていくことでしょう。新校舎は新しい学びに即した設計ができたと思います。それでは完成時にまた、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

ありがとう二代目校舎 よろしく新校舎

一昨年の会報紙でも触れましたが、新校舎の改築がいよいよ始まります。現在の校舎は昭和46、48年頃に建築されました。築後40数年を経過し、各所の老朽化と共に、現在の建築基準に合わないため、快適・安全な学校生活を送るため全面新築されます。



新校舎改築模型

原点返り?で中庭実現

新校舎の完成予想図の大きな特徴として中庭が挙げられます。現在の二代目校舎は横長でした。新校舎は体育館なども含めて片側にまとめられ、メインとなる校舎には中庭が付きまします。かつての初代木造校舎は口の字型で中庭もありました。原点復帰といえましようか?



初代校舎中庭

新校舎までの学校生活

新築工事期間は仮校舎をグラウンド内に建設します。仮校舎への引越は今年度の夏休み、新校舎への移転は2022年の夏休みの見込みです。

その後、グラウンド整備の工事を行います。2022年度に新校舎は完成する予定です。

仮校舎利用期間中でも、体育館と豊誠館はそのまま使用できます。屋内の体育授業や部活動には支障はありません。グラウンドも隣の旧豊島区立第十中学校のものを借りる予定なので、今までとほぼ同じに運動はできます。屋外で行う部活動は多少支障が出ますが、

最古建物の 図書館もついに終焉へ

校門を入ると右手にシンボリックな最古の建物と言える図書館があります。昭和30年から建っている図書館はついに姿を消します。

気になる枝垂桜は?

正門を入ると正面にそびえ立っている枝垂桜。地域の住民の方にも愛され、豊島に通う生徒達を温かく見守ってきた枝垂桜は、無事残ることになりました。枝垂桜の他にも、豊誠館の脇の学校敷地の角に立っている大きな桜も残されることが決まっています。

ただし、会報紙60号(平成27年発行)で紹介した「紅・白の梅」については、現在のところ未定とのことです。



→ 旧図書館

新図書館



人生の宝もの

久世 良三

(高校20回・S41年卒)



私は今から43年前から40年前に豊島高校で3年間お世話になりました。野球部に所属してサードを守りました。野エースで速球と変化球で寡黙な矢作君は後に豊島区役所に勤務、キャッチャーの中川君は後に東大野球部で名マナージャーとして活躍、英語も抜群の富田君は東京外語大学から日本航空に就職しロサンゼルス駐在時には訪問しお世話になりました。当時は旧制第十高女の良き伝統が残っていて優秀で素敵な女生徒が多かった印象が強かったです。その当時の男生徒も女性とも、今と異なり恥ずかしくて声すらかけられない雰囲気がありました。まして手などつなく勇気などなかったと思います。個人差はあったでしょうが(笑)本当に純朴で切ない純愛の世界で素敵なたったです。又、3年4組は今でも年に一度は東京で集まり旧交を温めています。世話好きの小田君など幹事のお蔭ですと続いていることは感謝しております。

組で紹介されました。昨年同期会がありその番組を見てくれた3年4組の中沢君から豊島高校の柏豊会に久世の波乱万丈の人生を紹介したいとの依頼がありました。カンブリア宮殿はアメリカとカナダでテレビジャパンを通して放映され大きな反響をいただきました。反響のあった理由は私の人生が失敗など波乱万丈で倒産寸前まで追い込まれ自殺まで考えた人間ドラマであったからだと推察します。そのドラマをご紹介します(結構恥ずかしい内容ですが)カンブリア宮殿の番組進行はこんな感じですよ。

『今話題の店がある。それはサンクゼールというジャムやワインの製造直売店。試飲試食ができるのが人気の秘密。大学を卒業後スパーダイエーに勤務するが一年で退社、家業の業務用食品問屋に三年間勤務後どうしてもスキーをやりたいと久世ペンションを開業。奥さんのまゆみさんは開業二日目のお客さんであった。』

大学時代競技スキーの選手だった久世は宿泊客に毎日競技スキーの技術や楽しさを無料で教え夜は毎晩パーティーで大繁盛、久世は青春真っただ中、妻は夫に愛想が付き三年目のシーズン中に実家に帰る。久世は驚いて妻の実家の横浜に迎えに行くがペンションをやめなければ離婚すると言われてしまった。直ぐにはやめることはできないが、必ずペンションはやめるので戻ってほしいと久世。無事ペンションに戻ってくれるが、脱ペンションでペンションを続けながらあまり資金のかわらないレンタルスキーやスポーツ用品の販売や歩合制のセールスなど試行錯誤し、最終的には妻のペンションの朝食で手作りで提供していたリンゴジャム

や杏ジャムが好評で瓶詰めし斑尾高原農場というブランドで発売したところ長野県のスキー場でブレイクし軽井沢でも人気を得て資本を貯めた。資金がなかったため委託工場を探し加工賃だけ支払いマーケティングとセールスに集中し、ペンションをやめても自立できる基盤ができたのでペンションの売却しそれまであったペンションの開業資金を完済し家も持つことができたとの約束は一応守ることができた。

『実態は企画販売会社であったがブランド名は斑尾高原農場だったのでお客様から観光協会に斑尾高原農場に行ってみたいという声が多く寄せられたが実際には工場も農場もない状態で壊れそうな安い事務所と倉庫だけの小さな会社だったために期待を裏切ってしまったことに申し訳ない気持ちでいっぱいであった。将来どうい方向に企画販売のジャム屋を持つていくか悩んでいて思い切ってフランスのノルマンディー、ポルドー、ブルゴーニュをレンタカーで視察することにした。ノルマンディーを選択した理由は長野県と同じようにリンゴの産地でリンゴのブランドのカルバドスがあると聞いていたこととワインにも興味があったためである。ノルマンディーで体験できた感動したのはフランスの寒村でありながら美しいリンゴ畑を巡るシードル街道、ところどころに点在するシードル(リンゴのスパークリングワイン)カルバドス(シードルをさらに蒸溜した蒸留酒)の醸造所があり全てリンゴ園に囲まれノルマンディー風の瀟洒な建物に魅了され蒸留所の横には試飲ができる直売所があった。ほとんどが自社畑の中に自宅と蒸留所と直売店がありこれが私が目指す世界だと確信できた瞬間であった。工場団地にある無機

質な工場ではない資金も少ない私には実現可能が高と考えられた。その村落の中心には教会があり地元や食材を樂しめるレストランもありゆつたりと過ごす夫婦や友人たちの姿に将来の我々日本人が失いつつある姿を見る思いがした。(時は日本では高度成長の1983年であった)ポルドー、ブルゴーニュでも同様にこんなパリから離れた田舎に豊かさと人々の豊かさを感じる事ができ素敵だと思った。

帰国後、作成した企画書を税務署に訪問しヨーロッパで見た感動と是非ワインを始めたいとビジョンを説明して何とか醸造免許を取得したいとお願いしたところ「久世さん絶対に無理です。そもそもワインは儲からないし久世さんにだけ許可する大義もない。しかも土地も人材もない状態ではとても無理」とけんもほろろであった。その頃に現在の長野県上水内郡飯綱町(旧三水村)にやはり飛び込みで訪問し篠原村長さんにノルマンディーと将来の夢を語らせてもらい企画書一枚に信用していただき、応援を取り付けることに成功した。

時は竹下政権の下、地方創生でバブルがはじける前であり追い風が吹いていて銀行にも創業以来の好業績で信用



サンクゼール本店ガーデン



長野県飯綱町の本店に併設されているレストラン

も得ていたので資金も農林省系の資金も含め借入にも成功した。村長、村役場、長野県庁、自治省の応援団が私の語る夢に運よく集まっていた。誰かの紹介でもなくいろんな人達に夢を語り続けてきた人脈であった。そんな経験から不可能と思えしり込みをすることもとにかく勇氣を振り絞って語り続け応援団を作る大切さを学ぶことができた。大きな夢には心ある人々が集まります。それぞれ異なる立場だけどこんな方法もあるよ、こんな資金もあるよと必ずそうなりました。資金の目途も立ち、村長さん自ら用地交渉していただき県庁を通して自治省の地域総合整備事業に採択され道路も整備されたなかで、村議員さんが元政務所職員で、陳情いただき税務署と国税局も醸造免許試験免許を与えてくださりジャム工場、事務所、ワイナリー、ぶどう畑、レストランなど一気に投資をすることができた。

そこまでは順風満帆の展開であったが素人のあまりに同時並行のプロジェクトはほころびが生じるのも時間の問題であった。従業員も寄せ集め工場運営もワイナリーもレストランもショッブも素人でありジャムの製造販売は大きな黒字であったがレストランは赤字を垂れ流し、ぶどうやワイン事業でも赤字続きでとうとう、銀行管理に近い状況に追い込まれてしまった。私が43歳の時であった。それから10年間は自転車操作で精神的にも追い詰められていき朝が明けなければただけ楽かと眠れない日々が続く。そんな中で長野冬季オリンピックが開催されオリンピックの公式ライセンスをジャムで取得大ヒットを飛ばし軽井沢一号店が大成功する幸運にも恵まれた頃、アメリカ在住の日本人の大富豪にエンジェルとして2億5千万円もの大金を出してくださったのも幸運であった。私の二男が当時カリフォルニアのナパバレーにワインとぶどうの勉強で留学していたご縁で知り合った方でした。銀行への信用も回復しそれから軽井沢の成功を知ったデイベロップから出店のオファーが相次ぎ多店舗化することになった。その後日本全国のこだわりメーカーさん250社の協力の下、久世福商店という和食材のショップを立ち上げ、3年間で70店舗の出店ができるようになり、現在ではサンクゼールと久世福商店併せて130店舗のショップを出すことができ、昨年にはアメリカ合衆国の西海岸のオレゴン州のニューバーク市に36000坪の敷地と1000坪の食品工場を買収することができました。

一番苦しい時には死も考え、睡眠薬でも眠れない時を過ごしたが、妻の支えや従業員の皆さんや応援団のお蔭で

諦めずにこれまでやってこられた気がします。

この文章を読まれた方に少しでも参考になれば幸いです。高校三年生の体育祭で体育委員長を務めさせていただき卒業時には東京都から文武両道の学生に体育優等生に男子では私が選ばれたのは私の生涯の一番の誇りであり、中庭にテニスコートがある木造の瀟洒な建物は正に理想の学び舎であり、甘酸っぱい青春の思い出の私にとっても大切な思い出です。

その当時の先生方も素晴らしい先生方で古き良き時代の真剣に生徒に向き合って下さり我々生徒が心から敬意をもって尊敬できる方たちばかりでありました。

先生に感謝します。そして共に遊び共に学びスポーツに打ち込んだ友に感謝したいと思えます。

池袋・新文芸坐で香川京子さんの『映画祭』開かれる

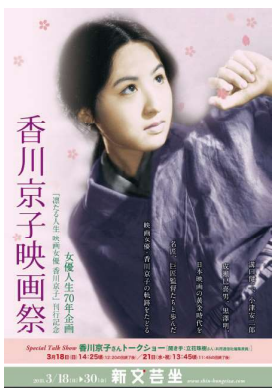
去る3月18日から30日まで、池袋の映画館「新文芸坐」で、高女9回の香川京子さんの映画祭が開催されました。(写真は映画祭のチラシ)

これは、香川さんが今年で映画界入りから70年目を迎え、集大成となるロングインタビュー本「凜たる人生 映画女優 香川京子」(ワイズ出版)の刊行をきっかけに企画されたもので、本格デビュー作「窓から飛び出せ」をはじめ、「ひめゆりの塔」、「東京物語」などの代表作計25本が上映されました。

また、18、21日には香川さんのトークショーも開催。18日の会に鈴木優子会長と香川さんの同期で役員の尾崎三重さんと共に参加しましたが、立ち見も出るほどの大盛況ぶりです。

香川さんはグリーンが眩しい素敵なお洋服で登場。その凜としたお姿から会場からは歓声が上がっておりました。

なお、香川さんは3月2日には第41回日本アカデミー賞で「会長功労賞」を受賞しました。今後もお元気で映画やテレビに出演されることを楽しみにしております。(赤坂保明記)



<広告>

◆◆◆ 豊島会だより ◆◆◆

「豊島会」は2014年(平成26年)に一般財団法人へ改組し、広く都民を対象とした公益活動を進めております。これまでに、豊島高校文化祭での講演会・豊島高校同窓生をゲストに招いての「語りと筆の会」・操り人形師の公演会「豊島会フェスティバル」などを開催してきました。

かつて軽井沢にあった豊島高校の寮の土地については、寮再建の可能性も含め多方面から検討を重ねましたが、昨年(2017年)売却いたしました。これからも、母校や柏豊会とのご縁を大切に、連携しながら活動を進めます。

東日本大震災から
七年たって

小日向 (河原) 恵美子
(高校19回S42年卒)

昨年10月、高校の同期会が63名の参加で行われた。会場には、代表の高橋眞さんの配慮による募金箱と大槌町の写真が貼られていた。高橋眞さんが大槌町を訪ねた時に撮影したものだ。



昨年、二度大槌町を訪ねた。1回は、二階部分まで被災した大槌町東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターが、三階部分を使われ、昨年度最後で、今年度から新しく建設されるとの情報を得たからである。震災後訪ねた大槌町が、いつのまにか大切な町になってきた。「湧き水」・私の住む東久留米市の職員も現在も派遣されている。東京大槌会(大槌町の役場に派遣された方々の会)の事も知った。そんな中、東久留米南沢氷川神社の天井画の制作者大小島眞木氏と出会うことになった。東久留米市アートプロジェクトの活動が実現した奉納の日の帰り道、あらためて南沢湧水地を訪ねた。いのちと水が魂のように思えた一瞬だった。

まだ、30歳になったばかりの女性アーティストと出会い、死生観も変わるほど影響を受けた。私は、大小島眞木さんが秋田県的美郷町の小学校に壁画を描いていると聞き公開制作に立ちよった。

2回目の大槌町訪問は、大小島眞木氏と東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターを訪ね、新しいセンターの工事現場で「どこに壁画を描こうか？」の打ち合わせとなった。私は、すでに、センター長の東大教授青山潤氏と大槌町支援の具体的な話を詰めていた。私の心の中には、フランスの海洋探査船「タラ号」に乗船した大小島眞木さんが、タラ号の扉に描いた鯨の絵と被災した東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターの二階の「世界の鯨のポスター」が、津波を被ったにも関わらず綺麗に残っていたのが不思議だった。哺乳類の鯨・人々の命を繋いでいた鯨・これこそが、大槌町にふさわしいのではないかと直観した。大小島氏も卒業する時期、大船渡に行きアートの復興を願って現地に赴いた。中国、インド、パキスタン他飛び回っている大小島さんが、このプロジェクトに共感をし、賛同いただいたことは、多くの方々へ復興への架け橋となっていくことを願っている。

今年3月11日(日)の第6回わすれまいその日コンサート&大小島眞木作品展覧会が大槌町から佐々木健様をお迎えし、大槌町の復興の様子や「海と希望の学校」のお話を東京大学大気海洋研究センター教授青山潤氏の話聞くことが出来た。開所の7月21日には、大小島眞木さんの天井画が完成の予定である。

豊島十四会 (昭和37年卒) 同期会
今年は、親睦会と同時開催です

2018
会えたらいいな
今年は母校で!



さっそくカレンダーに印をつけて、この日を空けておいてください!

日時 : 平成30年6月3日(日)午後1時
会場 : 豊島高校(親睦会会場)
問合せ : 落合 光太郎 03-3959-5411
鈴木(豊田) 優子 03-3972-4037



大小島さんの作品をバックに
小日向夫妻の間の大小島さん

千早会Ⅲ (高女9回、高校2回)

今年は5月16日(水)です。間違えぬように。池袋ホテルメトロポリタン2階「花むさし」午後1時30分からこの写真は昨年のものでした。花崎先生もお元気で今年も出席です。がんばりましょう。(花形、松尾、尾崎 記)



高校38回 (昭和61年卒)
同期会のお知らせ

日時 2018年6月2日(土)午後7時~
場所 椿山荘
幹事 須藤 渉一
(kgessyf0210jp@docomo.ne.jp)
昨年、卒業後30年で初めて開催して大好評だった学年全体の同期会をあの椿山荘で再び開きます!



同期会だより

高女7回(S22年卒)
米寿同期会

平成29年10月2日
於・新宿小田急ハルク大志満

私達高女7回生は、太平洋戦争が始まった次の昭和17年に府立第十高女に入學し、卒業は戦後繰上げによる都立第十高女を昭和21年4年卒と22年5年卒と疎開して戻れなかつた人達です。卒業後は殆ど毎年同期会を開き、先生方をお招きしておりましたが、年々先生方が旅立たれ、戦時中海兵の国語の教官だった5年担任の福田正次郎先生(詩人那珂太郎)に平成18年10月5日の日比谷松本樓の同期会にご出席いただいた後は、私達だけで開きました。卒業後70年を迎えた平成29年は、数えと満年齢で88歳になりましたので、10月2日小田急ハルク大志満で米寿同期会を開きました。23名が集まり、毎年



た喜びを語り合い、最期にしっかりと起立して、第十の校歌を歌い今後はお互いに健康に留意し、自立した生活をお願い、最期の同期会といたしました。思い出しますと、2年生になって間もなく敵国語である英語は国の取り決めで無くなり、3年生になって戦局の悪化と共に3か所の工場に分かれ、勤労働員に参加しました。教室にグラインダーが設置され、弾入れ作りの作業で粉だらけになり、傷にもめげず皆夢中で頑張り、戦後結核で亡くなった方の多いのもこの為と思っております。戦争によって軍国主義をもろに受け学業を投げ打って動員生活を余儀なくされました。素直に鬼畜米英、勝つまでは欲しがりません、月火水木金に洗脳され青春時代の大切な学生生活を失ったことを、戦後50年を機に文集「清き流れに―都立第十高女七回生の記録」に66名が動員の思い出を17名が恩師高木茂茂世先生(藤川)と福田正次郎先生の寄稿とともに書き残しました。

その後古稀の記念文集として「七十年を生きて今」に55名が参加し、更に80歳の時「傘寿を生きて」に53名が集大成の思いを込めてまとめました。この3冊は豊島高校に寄贈いたしました。戦後はどの先生も伸びました。伸びとした授業をして下さいました。特に福田正次郎先生の国語は、先生がガリ版刷りで古典を始めニイチエ、パスカル、ヴァレリーの断章など自由な教材での授業は心に触れる学習であり、大学の講義のように教えてくくださったことに感謝しています。最後に、豊島高校と柏豊会の益々の発展を念じております。【幹事一同】



榎本哲さんのお店 高校49回
『パンデフィロゾフ』を訪ねて

粋な街・神楽坂。東京メトロ東西線神楽坂駅から徒歩の赤城神社を過ぎ、お洒落なお店が並ぶ小道を抜けると閑静な住宅街になります。そこに今回ご紹介する高校49回・H9年卒の榎本哲(あきら)さんのパン屋があります。店名のフィロゾフはフランス語で哲学者の意。自身の名前に『哲』が入っているので店名にして平成29年9月にオープンしました。榎本さんは元『ドミニク・サブロン』のシェフ・ブルーランジェでした。ブルーランジェとはフランス語で「パン職人」を意味する言葉で、平成20年にフランスパリで3本の指に入るブルーランジェ、ドミニク・サブロン氏が手がけた日本初の店のシェフ・ブルーランジェに大抜擢されました。その活躍はテレビなどでも紹介されました。

その榎本さん念願のご自分の店『パンデフィロゾフ』では、店内で焼いている焼きたてほやほやのパンが並んでいます。今回の取材には鈴木会長と会計の大平さんと赤坂が行きました。お昼を少し過ぎたせいもあり、大平さんがお目当ての「アサマ山食パン」は売り切れ。この間にも店内にはパンを買い求めるお客様が次々に来店されていました。

職人の世界に憧れ、この世界に飛び込んだ榎本さん。もの作りの楽しさ、厳しさが学べるところがよかつたという反面、睡眠時間が少ないところが大変とおっしゃっていました。豊島高校在学中は水泳部に在籍し



Pain des Philosophes (パンデフィロゾフ)

「水泳部で心身ともに鍛えられて良かった。」と語っていました。おスヌメのパンを聞くと「全て」とパン作りで自信を持っている答えが。そんな榎本さんの夢は「近い将来、自分のやりたいことを詰め込んだカフェをやりたい」とのこと。ぜひ実現させて頂いて、また会報の紙面を飾る日を心待ちにしております。【赤坂保明記】



住所：東京都新宿区東五軒町1-18
電話：03-6874-5808
営業時間：10時～19時
※パンが売り切れ次第終了
定休日：月曜日+不定休

同期会だより

高校5回卒(S16年卒) 同期会
 平成28年4月1日
 於・渋谷デバージ

高校第5回(昭和28年)卒業の私共は長年同期会をまめにやってきており、最近では宝田明さんが榎宝田企画を動員して、ほぼ毎年続けておりました。

しかし、一昨年にはほとんどどのメンバーが傘寿を迎え、参加者も次第に少なくなり、宝田明さんも出演に御多忙で、平成27年には同期会を行いませんでした。

このままお流れになるのも残念なので、平成28年に有志数名が音頭をとって、なるべく多勢が気軽にダベリ会ができるよう、渋谷駅から3分の渋谷デバージ(貸切パーティールーム)を会場にして2年振りに集まり、90才台になられた元1組御担当の花崎幸子先生、2組御担当の海老根甲先生を始め、宝田明さん他、約45名が久しぶりに賑やかに談笑致しました。

最後に世話人を代表して池野昌一さんが同期会の打上げ仮締め挨拶を行い、これが最後でよいかどうかの未練は、昔の高校卒業生代表の原田精重さんにゲタをあずけて、仮締め打上げ会を無事に終了致しました。
 【平松茂実記】
 (追記)その後29年9月に原田精重さん主催で有志会も行いました。

※本来なら昨年の会報に掲載するところ、漏れてしまいましたことを深くお詫びいたします。

高校13回卒(S36年卒)
 1年4組クラス会

平成29年11月25日
 於・銀座ライオン新橋店

高校入学という青春時代のスタート時期に、運命的な出会いをした1年4組のクラス会を52年ぶりに開催しました。出会ってから59年、大部分の人が75歳の後期高齢者になる節目の年でした。きっかけは、3年前に舞踊部有志と文化祭で男性ダンサーとして応援出演したメンバーの集いがあり、そのうち4名が1年4組出身だったため、皆とクラス会をしたという意見があり、今回開催の運びとなりました。柏豊会会長、役員赤坂さんのご協力で連絡先の調査をし、26名の方と連絡がとれました。16名の出席予定でしたが、最終的に11名の集いとなりました。悲しいことに、わかつただけでも9名の級友が先立っていました。最初に恩師と先だった級友の冥福を祈って黙祷と献杯をし、出席メンバーの今後の健康と幸多き余生を祈念して、乾杯をおこないました。その後は、卒業後の人生や家庭状況、近況などの報告を各自行いました。入学式や遠足、ハイキングやクラス解散会などのアルバムコピーで思い出を語り、欠席メンバーの近況にも話が及び、3時間があつという間でした。最後に又の再会を約し、有志が2次会、3次会に流れました。
 【世話役上野】



高校16回卒(三九会) 同期会
 平成29年11月4日

三九会の懇親会を池袋西口公園裏で行い、20名の皆さんが参加されました。同期会で約束した毎年1回の集まりで、お互いの元気を確認しあいつつもの様に二次会にも行き楽しい時間を共有する事が出来ました。今年には土曜日でなく、10月の最終日曜日に懇親会を行います。平成30年10月28日15時30分池袋西口「えん」参加者は一週間前までにメールでご連絡下さい。
 ymogawa@nifty.com
 【世話役 小川寛美】

高校19回卒(S42年卒) 同期会
 平成29年10月14日 於・池袋

昭和42年4月に入学した私達は、男子160名女子261名、合計421名で出発しました。高校卒業して、早いもので50年が経ってしまいました。この間に日本も大きく変化し、我々団塊世代の頑張りでこの国は豊になり世界でも誇れる国になりました。その背景には、我々世代の仕事に対する情熱があり、それぞれが輝いていたと思います。
 1時の受付時間になると、懐かしい同期の仲間の顔が次々と現れ出しました。その後、続々と集まり、気がつくと開会の時間になっていました。野田ひろみさんの開会の挨拶は、琴に出会い琴を通して広く世界が広がった自分の体験談を話してくれました。次に、生徒会長だった内田孝君の乾杯の発声で会が始まりました。

早々に、皆さん食事をしたり、喉を潤したりしながら、会場のスクリーンに映し出された高校時代の写真を見ていたらアツという間に50年前にタイムスリップし、大いに昔話や最近の話題で大いに盛り上がりました。途中では、各クラスの幹事から参加者の紹介がありました。高校時代とずいぶん変わった人やそれほど変わらない人、様々な人間模様を感じました。今回、一番遠くからの参加者は大阪から来てくれた山田さんでした。その後も、クラスの枠を越えて懐かしそうに昔話しに花を咲かせていました。最後は、恒例の「高校三年生」と「修学旅行」で声を慣らして、小日向さんの指揮で参加者全員で元氣良く校歌を合唱しました。改めて歌詞のすばらしさを実感しました。最後に石原君から閉会の話があり時間の経つのは早いもので、アツという間の2時間30分でした。今回は、同期会の原点に戻って昼間の開催でしたが、参加された皆さんはいかがでしたか?お互いに健康で一日一日が充実した日々を送り、再会を楽しみに池袋を後にしました。
 【世話役高橋真】



豊島高校吹奏楽部 OB・OGの集い 平成29年11月19日(日) 於・IKE Bizとしま産業振興プラザ



豊島高校吹奏楽部は創部以来50年以上の歴史があり、50代以上のOB・OGが集まるような集まりは、もうありません。またOB・OGの活動も休止状態でした。そのような状況の中、OB・OGの声をあげ、その第一歩として「OB・OGの集い」を開催しました。準備期間は1年半及び、創部間もない昭和44年卒から平成29年卒までの幅広い世代約30名が集まりました。

会の内容は、開催にあたっての経緯の説明、30年以上昔の演奏や昨年の都大会本選銀賞(予選金賞)を獲得したコンクールのDVD視聴、参加者の自己紹介、OB会長、前OB会長挨拶、OB・OG会についての意見交換と、盛り沢山なものでした。

初めにお会いする先輩、後輩もいろいろ話しましたが、同窓会館での練習や合宿の話、今や120名を超える現役の活躍の話など楽しい時間を過ごすことができ、「是非また集まりたい」という声が多く聞かれました。

またOB・OG会についての意見交換では、卒業間もないOB・OGから現役の状況や苦勞されている話もあり、OB・OG会として現役の応援・支援について考えていかなければと思われました。今後OB・OGの親睦に加え、豊島高校吹奏楽部を応援するため、現役の保護者による後援会とも協力しながら活動していきたいと考えています。

たいと考えています。今後のOB・OG会の活動についてはwebに掲載していきますので、どうぞご協力をよろしく願います。
https://toshimabussokai29.jindo.co.jp/ (柏豊会HPからもリンク有) 【幹事一同】

豊柔会(柔道部OB・OG) 高橋 眞(19回卒) 平成29年6月4日(日)

柏豊会親睦会の日に豊柔会(柔道部OB・OG)が開催されました。

柔道部の始まりは、昭和27年頃学校の西側に廃屋になりかけていた薙刀道場を5回生の男子有志が集まり、各自が自宅から大工道具等を持って改装して出来上りました。50畳位の待望の柔道場が出来上がり、昭和38年頃進藤先生が栄転になり、昭和中村公男先生が柔道部を引き継ぐ事になりました。この頃、先生とOBが話し合い、豊柔会が発足され、初代会長に齊木幸彦氏が選出され、1回の豊柔会が開催され、数多くのOBが集まり在校生に稽古をつけてくれました。

私が入部した頃には、柔道部は第4学区では私立の強豪校に負けない強さになっていました。その後、創立30周年記念生徒会ホール内に140畳位の新しい道場が出来ました。日々一生懸命稽古に汗を流した思い出が蘇りました。この頃に会長が三石昌美氏に引き継がれ、豊柔会も継続して在校生との交流が行われていました。私も卒業後には、夏休みに稽古に参加していましたが、だんだんと疎遠になってしまいました。その後、柔道部も休部になった事が非常に残念です。

創立80周年にあたり、齊木氏と三石氏と相談して「進藤・和村先生の思い出と柔道部の親睦会」を呼び掛けました。当日の参加者は、堀(11回)三石・宮田・増村・平野(12回)藤本(13回)島方(18回)高橋(19回)中島(28回)の部員が集まりました。

宮田氏は、郡山から駆けつけてくれま

した。進藤・和村先生の話から稽古や高校時代の話と世代を越えて話して花が咲きました。初代会長の齊木氏が体調が悪く、お目にかかれなかつたことが残念でした。この間に柔道部員として稽古に励んだ部員数は二百数十名になりました。豊島高校柔道部で学んだ事は、卒業後も実社会でも大いに役立ち部員のバックボーンになっていて、事を実感しました。

豊籠会だより (バスケットボール部OB会) 会長 大野克之



豊籠会は発足65周年の今年、OB会に迎えて一段のことが出来ることになりました。そこで二代目舍のお別れもあつて久しぶりに学校で恒例の総会を開催しました。

3月24日(土)は春休みで校内は閑散としていましたが、一部校庭は工事車両の出入り口工事をしており、これから本格的に始まる改築工事を想像させる気配がありました。

総会には昭和30年に卒業された大先輩のOB・OGから昨年卒業されたOGまでの幅広い世代33名が出席しました。多くの方が教室には似つかわしくない年令であり、体形ではありますが、総会の議題である平成29年度収支報告、平成30年度予算案、そして、会則の一部補正は滞りなく決議することが出来ました。

男子バスケット顧問の石井先生や現役生徒に一言挨拶をして頂くのも久しぶりのことでした。また、出席した11名のOGの中に平成9年に関東大会に行ったメンパにもいたのが、現在も使用しているその時に制作した横断幕を見て懐かしさを感じてもらいました。最後に玄関前のやつと膨らみ始めた枝垂桜の下で写真を撮って学校での総会は終了しました。

顧問は近隣の居酒屋を貸切つて、元も出席いただいた鬼木先生、黒川先生は昨年の倍近い32名に参加いただきました。さらにOGや初めての方も多くて華やかなりや空気に包まれて、お店のご厚意で2時間を超過してワイワイしたのですが、それでも豊籠会の目的「会員の親睦、現役部員との結び付きと物心両面への援助」を図るために、学校の環境・個人の価値観等が大きく変化する中で、OB・OG会の存続に努力しております。総会、親睦会に参加しただけの方も増え、年会費も一口千円以上と支援して頂き易くしたので60名の方(3月28日現在)にご協力いただきました。本年度の予算案までと少しまでになつて居るのは感謝の次第です。

残念ながら「総会・親睦会の案内」が全体的にOB・OGに届いていません。宛先不明になつてしまつた方、長年連絡が途絶えている方(案内状の返信はがき未着等)、そして平成15年、25年卒業のOB・OGの方に関しては名簿が無いので何も出来ていません。

是非、ご一報頂ければと思います。尚、同窓会の柏豊会の役員も兼ねて務めていただきますので、柏豊会の方に連絡をいただいても大丈夫です。

来年はさらに多くの方に出席頂いて、高校生時代の話で盛り上がる時間を共有出来ることを心待ちにしております。

【連絡先 大野】
携帯電話 080-14677-10071
Eメール oonof71@enoh1e.ne.jp

柏豊会からのお知らせ

振替用紙・

同窓会費につきまして

同封の振替用紙は、「通信協力費」の送金用です。年会費や親睦会参加費等のものとは異なります。なお、柏豊会の会費は、卒業時に入金金として終身会費として頂戴しており、年会費としての徴収はございません。

「通信協力費」ご協力

ありがとうございます！
引き続きご協力お願いします！

日頃は柏豊会事業にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。柏豊会では会の運営維持・会報の充実などに向け「通信協力費」を受け付し、有効活用しています。

昨年度もたくさんのご協力で深く御礼申し上げます。引き続きご協力をお願い致します。

【役員一同】

▼送金は同封の振替用紙をご利用ください。ゆうちょ銀行またはお近くの郵便局からどうぞ。払込書機能付きATMでもご利用いただけます。

▼通信欄に卒業回・クラス(または宛名ラベルの印字コード)、依頼人欄の住所・氏名の記入をお忘れなく。

▼振替用紙は毎年同封されます(一部の方は除く)。先の方まで送金済みの方は、お手数ですが、破棄してください。

▼同期会などでまとめたの入金も可能です。通信欄で詳細をお知らせください。

振替用紙以外でお振込みの場合は、左記の口座あてにお願い致します。

※他銀行からの送金の場合、同封の振替用紙は使用できません。

「寄付金」も

ありがとうございます！

「通信協力費」としても皆様より多数ご協力を頂きましたが、「寄付金」ということでも左記の方よりご入金を頂きました。深く御礼申し上げます。

中尾(岡本) 恵子様(高校8回)

高校11回3年8組豊麗会様
サッカー部OB会様

送金口座 (ゆうちょ銀行振替口座番号)

00150-7-403846

※他銀行から振込みの際は、下記の店名・口座番号をご利用下さい。

店名:〇一九店 店番:019 預金種目:当座預金
口座番号:403846

加入者名 (受取人)

柏豊会(都立豊島高校同窓会)

*通信協力費として一口1,000円以上(千円単位)

*通信協力費は同窓生の任意で頂くもので、年会費や親睦会参加費等とは異なります。

*振替金の受領証をもって領収書に代えます。

*振替用紙上の個人情報、柏豊会で厳正に管理します。なお、用紙の保管は5年間とし、以後は裁断し破棄いたしますので、ご了承ください。

教職員の異動 (順不同・敬称略)

着任

▶大山敏(校長)

▶台東区立柏葉中から▶菅原泰樹(国語) 練馬工業

高から▶鈴木素子(国語) 東大和

高から▶渡邊悠太(国語) 新規採用▶井上

広大(社会) 府中高から▶藤井孝(数学) 板橋有

徳高から▶早崎秀明(数学) 保谷高から▶柳沢勇

貴(数学) 新規採用▶佐藤功(理科) 石神井高

から▶工藤彰浩(保体) 八丈高「定」から▶水上敦

哉(英語) 清瀬高から▶戸崎秀之(家庭) 稔ヶ丘

高から

▶林真司(校長)

▶六本木高へ▶若井尚子(国語) 大泉中高へ▶宮

路みち子(社会) 指導部 高等学校教育指導課へ▶

雨宮博一(数学) 八丈高へ▶木保隆史(数学) 大

泉中高へ▶佐藤博(数学) 板橋有徳高へ▶西山政人

(理科) 大泉中高へ▶丑久保英世(英語) 文京高

へ▶村瀬恵美(家庭) 田柄高へ

▶小嶋広行(国語)

▶細田裕美(国語)▶野村健一(保体)

▶着任は4月1日付、転任・退職3月31日付です

【お詫びと訂正】 昨年の会報の物故者欄に掲載されました高校17回の加島(内海)真理子様が、ご存命でした。大変申し訳ありませんでした。深くお詫び申し上げます。

【物故者】 平成29年4月から30年3月まで逝去の連絡を頂戴した旧職員・同窓生を掲載し、故人のご冥福をお祈り致します。(順不同・敬称略)

小間(千原) 靖子 (高5回)

三悟悟 (高5回)

内田(山崎) 久美子 (高5回)

山田英樹 (高5回)

田島(地井) 雅子 (高5回)

横里昌男 (高6回)

八町(井村) 祥子 (高6回)

村松幹雄 (高6回)

大矢根(佐野) 陽子 (高6回)

名井豊子 (高7回)

白銀(加茂) 由美子 (高7回)

松永蓉子 (高8回)

田中(柴田) 佳世子 (高8回)

金子守宏 (高8回)

春国勝靖 (高9回)

折笠(江見) 信子 (高9回)

上野喬士 (高10回)

杉山肇 (高10回)

成田多賀子 (高11回)

安川(井上) 正子 (高11回)

小高(近藤) 寿美子 (高13回)

高橋英樹 (高13回)

石川克彦 (高14回)

二本松治子 (高14回)

中山(松岡) 節子 (高15回)

岡部三重子 (高16回)

真下(渡部) 紀子 (高16回)

郡山(朝倉) 洋子 (高16回)

安田正男 (高19回)

伊佐隆幸 (高19回)

北山(西塚) すみ子 (高19回)

明憲記 (高19回)

松本幸枝 (高25回)

秋葉しのぶ (高36回)

【会より】 遅れて連絡を頂戴することもあり、過年度に逝去された方もおりますので、ご了承下さい。

中央展にて母校生徒が奨励賞受賞

母校の正面玄関を入ると、ひときわ鮮やかな緑が印象的なカエルの絵があります。タイトルは「雨あがり」で、本校2年生(当時)の東本(とうもと) 櫻さんの作品。この絵は、東京都高等学校文化祭の美術・工芸部門中央大会・第28回中央展で栄えある奨励賞を受賞しました。東京中の美術に強い生徒が応募するなかでの快挙でした。美術部部长である東本さんは、中学時代はバレー部で活躍しましたが、子供頃から絵が好きだったのが、高校では美術部に入部。受賞の感想を聞くと、周りには素晴らしい格上の作品が沢山あり、まさか入賞するとは思わず素直に



嬉しかったと語っています。

これまでは、海の中の絵・桜の絵など立体感を表現する絵を描いてきました。今回、カエルを題材に選んだのは「カエルのつるつとした感じが好きだったから」また、「時間的な制約もあり、緑一色で描ける絵が良かった」とのことでした。そんな東本さんは意外にも美大志望でなく、文系の大学を目指して受験勉強中。もう3年生というところで、美術部も引退し、この作品が学校生活最後のものになります。これからも絵は続けていきたいと語る東本さんには、再び会報の紙面を飾る日が来ることを心待ちにしています。

科学の甲子園入賞

昨年11月12日、都立日比谷高校で行われた平成29年度科学の祭典(第7回科学の甲子園東京都大会)に母校科学部が参加、筆記競技と実技競技が行われ、3位に入賞しました。

実技競技は、1本の針金を使ってコマを作り、どれだけ長く回せるかという競技でした。試作時に、重心が下になるほど回転時間が長くなることが明らかとなったので、本番では、重心が低いコマを角がでないように丁寧に作成しました。結

日本管楽合奏コンテスト 全国大会優秀賞受賞



果、54秒間コマが回り続け、さらに針金の長さ点として4秒加算され、58秒という記録につながり、3位入賞となりました。(写真は豊島高校HP「理数研究校通信」より転載)



編集後記

昨年10月29日、第23回「日本管楽合奏コンテスト全国大会」高等学校B部門が文京シビックホールにて開催され、TWOは1年生59名・2年生38名・3年生6名の計103名で「吹奏楽のための協奏曲」を演奏し、優秀賞を受賞しました。また、その他に昨年8月の第57回東京都高等学校吹奏楽コンクールでも金賞を受賞しております。

◆編集委員の方に言われて気が付いたのですが、今年の会報は「パンつながり」でした。パンデファイロゾフのパケットにサンクゼールのジャムを塗ってみたら、きつとそれだけで贅沢なブレックファーストになるに違いない。こんな先輩・後輩の絶品同士のコラボを勝手に楽しめるのも豊島生ならではのなにかと思います。◆総会制になり、返信はがきをお送り頂き、ありがとうございます。出欠の返事以外にも近況や学校時代の思い出をスペースいっぱい書いて下さり胸が熱くなる思いです。特に高女の先輩の話は戦時中の貴重な声です。本来であれば総会の時にもご紹介するべきところですが、時間的な制約もあり、叶わないのが現状です。そこで今後は誌面にてご紹介できればと思案しております。

柏 豊 63 号

2018年(平成30年)5月10日発行
©柏豊会 2018/ 本誌は非売品です

【注意】掲載情報の二次利用及び
本誌の転載・複製等を厳禁します

制作・著作 柏 豊 会
(第十高女・豊島高校同窓会)

〒171-0044 東京都豊島区千早 4-9-21
豊島高校内

会長 鈴木 優 子

TEL 090-4228-8758 FAX 03-3972-4037

印刷 同窓会事務局

《会報編集委員》

- | | | | |
|----|----|----|----|
| 尾崎 | 三重 | 野木 | 淳子 |
| 木村 | 太一 | 綿貫 | 淳子 |
| 小泉 | 恭昭 | 森平 | 正保 |
| 豊島 | 宏之 | 大坂 | 子明 |
| 小川 | 寛美 | 赤坂 | 保明 |